

暖かい和歌山

NGUYEN NHU Y

教育学部 交換留学生 ベトナム

私はにぎやかなところが好きなので、和歌山に来たとき、ちょっと失望した。人があまりいなくて、遊園地とかあまりなかったからである。それに、坂ばかりなので、学校へ行くことは非常に大変である。和歌山に来たばかりのころ、自分に何回も「なぜ和歌山大学を選んだ」と聞いた。そのたびに、いつも自分は「和歌山には友達が多いから」という答えを出した。ベトナムの大学で和歌山大学の学生とよく交流したので、日本人の友達が多くなった。それから、知らないうちに和歌山大学に感情を持ってしまったのだ。しかし、和歌山県は静か過ぎて、つまらないと思う。

一ヶ月後、和歌山県で素晴らしいものを見つけた。まず、景色である。ある日、住んでいる周辺を散歩しているとき、東照宮を見た。入ってみると、神秘的な雰囲気が感じられた。その上、東照宮から、葉っぱカーペットをあるいて突き抜けると、海も見えた。見たことがない素晴らしい景色だと思った。それだけではなく、その隣に茂った木々の葉を通して日光が差し込めないほどこんもりした山道があった。トトロの映画に出てくる道みたいと思った。本当にきれいだった。



それから、和歌山について、色々調べた。和歌山城で忍者としてバイトしている友達によると、和歌山はかつて豊かで、にぎやかなところであり、将軍が育った和歌山城は盛んであったを代表しているそうだ。友達は他にも高野山や熊野古道など名所を紹介してくれた。私は、「わあ、和歌山は面白そう」と思った。

次の和歌山についての印象は伝統的な雰囲気がまだ残っていることである。ひな祭りや、火祭りなど一年間、色々な伝統的なお祭りは工夫されて

行われていて、みんなが応援して、熱心に参加している。先週、熊野那智大社の火祭りを見に行った。雄大な自然の中で、色々な儀式が行われた。見たことがない楽器を使いながら、音楽の通りに、踊っている人や怪奇な歌を歌う人も多かった。それはどういう意味か分からなかったが、神秘で神聖な雰囲気を感じられた。多分それは神様や自然が人間と通じる方法かもしれないと思った。

最後に、私にとって和歌山の一番素晴らしいものは暖かい心を持っている和歌山の人である。私は始めて銭湯に行ったとき、右も左も分からなかった私にあるおばあさんが詳しく説明してくれた。そして、銭湯で皆はお互いに知らなくても、楽しく挨拶していた。もし世界の人々がいつもこのようにしていたら、どこでも平和ではないだろうかと考えた。暖かい心を持っているだけではなく、和歌山の人には本当にやさしいと思う。運転手は道を渡ろうとする私を見ると、車を止めて、渡ってくださいという合図をしてくれる。



日本に来てから、今まで、色々困ったことがあったが、大学の先生や友達や周りの人のおかげで、日本の生活にもうすっかり慣れた。大学で先生達は色々教えてくれて、会館ではボランティア先生がよく世話をしてくれる。それに、遊びに行くとき、友達から、色々なアドバイスをもらえるので、助かる。「良かったね、ネッド君」という話にでてくるような私である。和歌山はにぎやかなところではないが、きれいなところである。でも遊園地とかなくてつまらない。でも温泉がいっぱいなので、リラックスできる。でも、学校へ行く道が遠くて、坂ばかりで大変である。毎日毎日自転車で行くと体が元気になって、良かった。でも店とかあまりないので、バイトを探しにくくて、時給が安いので大変だ。物価が高くて、料理が多くておいしいので、良かった。でも人口が多くなくて、若者の少なく、とてもさびしくて大変だ。人は少ないが、周りの人は熱心で親切な人で良かった。和歌山に来て本当に良かった。